

紫外線による首湿疹を短期間で治療した成人アトピー様皮膚症状の経過 (33 歳男性)

症例 ID：001-30-IN | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

夏場に太陽光に当たると首の周りにアトピーのような症状が出ていました。季節性で比較的軽度であり、首にタオルを巻いて紫外線を遮ることで対応していました。ステロイドは使用していませんでした。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド使用はありません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	使用なし。
中止時期	使用していません。
来院前／後	来院前の使用はありません。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
来院前	来院前	夏場に太陽光を浴びると首まわりにかゆみと赤い湿疹が出ていました。
7 月 31 日	治療開始	松本医院を受診し、漢方の煎じ薬と外用薬による治療を開始しました。
治療開始後の日曜日	症状誘発	タオルでの遮光をせずプールへ行き、首に太陽光を浴びました。首まわりにかゆみと赤い湿疹が出ました。
その後 3 週間	経過中	3 週連続で意識的に日光に当たり、症状は日を増すごとに軽くなりました。
6 週間後	経過後	漢方薬を 6 週間飲み続け、太陽光に当たっても症状が出なくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後に意識的に日光へ当たり、首まわりにかゆみと赤い湿疹が出た時期です。

5. 困りごと

- 夏場は首をタオルで覆う必要があり、屋外活動に制限がありました。
- 治療中は意識的に日光に当たりましたが、かゆみと湿疹が出る時期がありました。

6. 経過のまとめ

夏場に太陽光で首まわりのかゆみと湿疹が出る状態でしたが、ステロイド使用歴はありませんでした。7 月 31 日に治療を開始し、3 週連続で日光に当てる中で症状の出方が軽くなりました。

6 週間後には、太陽光に当たっても症状が出なくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。